



私は、大学3年次の春から図書館のアルバイトを始めました。現在は同学年の方と一緒に働いています。ここで私が担当している仕事を紹介します。

多くの業務はカウンターで行っており、本の貸出・返却と受付が主です。加えて、書庫への入庫手続きや本を順番通りに並べる配架規制という作業もしています。カウンターで座っている印象を持たれがちですが、体力と根気のいる業務もあることを実際に身をもって感じています。

このアルバイトを通して学んだことは、当然のことではありますが、たくさんの人が図書館の運営に関わっているということです。カウンターの業務以外で職員の方の仕事を拝見させていただいたり、一緒にお仕事させていただいたりすることを通して、陰でも様々な業務に携わる方々がいることを知りました。利用者の立場では滅多に知り得ないことを見聞きし、社会で



工藤真央



働く楽しさと同時に苦労や厳しさも日々学んでいます。またこのような環境において、自身の振る舞いも周囲に見られていることも改めて学びました。利用者への対応や職員の方々、他のアルバイトの人への態度はもちろん、本の配架や閉館の準備の際も利用者に配慮すると同時に、常に一職員としての意識を持って行動することが大切だと考えるようになりました。このように、図書館のアルバイトは周囲の方々から学べるのが様々あり、重要な社会経験の場となっています。

図書館のアルバイトは人だけでなく、たくさんの図書にも出会うことができます。業務で書庫に入る機会が多く、その度に面白そうな本を目にします。特に書庫二層・三層にはあらゆる言語の図書があり、皆さんにも是非お勧めしたい場所です。誰がどんな本を書いたのかを知ることができたり、映画の基になった原作を発見したりと大変興味深く、勉強にもなります。恵まれた環境で貴重な体験をさせていただいていることに感謝し、これからも一生懸命業務に励んでいきたいと思えます。

くどう まお（英米語学科4年次生）

